

事務事業名	社会教育委員運営事業		所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約					
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない				

〔事業の概要・現状・課題〕

事業概要と現状社会教育委員が社会教育に関し教育委員会に助言するため、下記の職務を行う環境を整える。

①社会教育に関する諸計画を立案すること
②定時または臨時の会議で教育委員会の諮問に応じて意見を述べること
③これらのために必要な研究調査を行うこと

町民の中で「社会教育委員」の認知度が低い状況にある。社会教育委員の役割の周知や地域学校協働活動などへの参加も含め、社会教育委員活動の「見える化」を進めていく。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

実践する社会教育委員として、各社会教育事業等へ参加してもらい、社会教育委員活動の「見える化」を進める。

また、社会教育事業への意見や提案を活発にもらえるように、各種研修会への参加促進などにより知識の向上を図る。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	297,204	468,908	431,097	804,000	804,000	804,000
	事業費計	円	297,204	468,908	431,097	804,000	804,000	804,000

事務事業名	家庭教育学級活動支援事業	所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約				
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

〔事業の概要・現状・課題〕

家庭教育学級への支援（補助金の支出と学習内容に関する助言）及び、家庭教育をテーマとした講演会等を開催している。
共働きなど生活スタイルの変化により家庭の孤立化、コミュニティの希薄化が生じている中、親が家庭教育の重要性を認識し、自発的・計画的・継続的かつ集団的に学習および仲間作りを行う役割を担う学級運営を支援する。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

親同士のつながりだけではなく、学校や地域と連携した活動が重要となっていくため、学校や地域と連携して地域全体で子育てができる環境を整備する。
各学級と「家庭教育」及び「家庭教育支援」について共通認識を持ち、連携して子育て世代の仲間づくり、家庭教育の充実を図る。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	88,788	179,643	232,076	351,000	351,000	351,000
	事業費計	円	88,788	179,643	232,076	351,000	351,000	351,000

事務事業名	少年教育活動運営事業	所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約	ジモト大学の積極的推進			

◆ 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要)</p> <p>少年少女国内研修事業(友好都市訪問事業)、西部十勝野外活動体験研修事業「クマゲラの村キッズキャンプ」、ジュニアリーダーコース道東派遣、フレンドリーコンサート、子どもわんぱくキャンプ、メモオロ太鼓保存会子どもの部活動報償、寺子屋めむろ夏・冬、ジモト大学</p>	
<p>2. 対象(何を対象にしているか)</p> <p>芽室町内在住の児童・生徒</p>	
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <p>異なる年齢や地域間の交流を通じてリーダーを育成する。</p>	
<p>4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)</p> <p>各種体験活動や研修事業をととして、児童生徒の豊かな心の育成を図る。</p>	

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 事業数	回
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 町内の児童生徒数	人
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 町内の児童生徒数のうち事業に参加した人数	人
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 児童生徒のうち事業に参加した者の割合	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	409,854	725,230	736,460	1,181,000	1,181,000	1,181,000
	一般財源	円	4,412,335	2,064,143	3,283,515	7,011,000	7,011,000	7,011,000
	事業費計	円	4,822,189	2,789,373	4,019,975	8,192,000	8,192,000	8,192,000
活動指標	①	回	7	10	10	10	10	10
	②							
	③							
対象指標	①	人	1,672	1,591	1,535	1,492	1,492	1,492
	②							
	③							
成果指標	①	人	122	295	279	280	280	280
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	7.3	18.5	18.2	18.8	18.8	18.8
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <p>様々な体験活動をととして、子どもたちの豊かで健やかな心を育む。 集団生活をととして形成される協調性や自然体験の中での経験が、子どもたちの発達段階ごとの成長に影響を持つと考えられることから、その重要性が求められる。 少年期に地域での豊かな体験活動の機会を持つことにより、郷土愛の醸成を図る。</p>	<p>2. 今後の取組 (2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法)</p> <p>ジモト大学については、以下3点を目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の強みを活かす教育プログラムとしての質の向上 → 地域おこし協力隊制度による専門的人財を活用 ・参加生徒層の拡大 → 学校(授業/部活動等)との連携 ・小中学校⇄高校、地域⇄高校の連携体制の構築 → 中高生以下世代との連携機会の創出 <p>各種事業継続の中で、形骸化・マンネリ化しないよう、事業内容の向上に努める。</p>
--	---

事務事業名	柏樹学園開催事業	所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約	高齢者等活き活き推進事業			

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 65歳以上の町民を対象に、年間を通じた学習プログラムを作成し、提供する。 月に1～2回程度の通常の学習日には、午前は学習(聴講)、午後は実技(クラブ活動)を行う。その他、修学旅行や学園祭などの行事も行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 町内在住の65歳以上の方
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 仲間とともに生き生きと楽しく学び、交流してもらう。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 柏樹学園での活動を通して、生きがいのある豊かな人生を送ってもらう。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 活動時間	時間
② 学習成果の発表	回
③ クラブ数	クラブ

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 65歳以上の町民	人
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 参加人数	人
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 入園する割合	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	308,000	272,000	256,000	240,000	240,000	240,000
	一般財源	円	1,006,577	853,770	854,811	1,625,000	1,625,000	1,625,000
	事業費計	円	1,314,577	1,125,770	1,110,811	1,865,000	1,865,000	1,865,000
活動指標	① 時間		50	57	57	57	57	57
	② 回		1	2	2	2	2	2
	③ クラブ		11	10	10	11	11	11
対象指標	① 人		5,502	5,493	5,481	5,461	5,461	5,461
	②							
	③							
成果指標	① 人		149	136	128	134	134	134
	②							
	③							
上位成果指標	① %		3	2	2	2	2	2
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・柏樹学園生の減少、高齢化 ・地域人材の発掘・育成 ・ニーズに合わせた学習機会の創出 ・高齢者人口の増と多様化への対応	2. 今後の取組 (2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法) ・興味ある講義等の実施、ニーズの把握及び1日体験入園の実施(柏樹学園) ・学校支援ボランティア等を通じた人材の確保、育成により、自己有用感の向上につなげる ・公民館、体育施設での講座等を通しての人材の育成、発掘(指定管理者や他課との連携) ・高齢者の経験、知恵等を生かした人材の確保
---	---

2024 年度（ 2023 年度実績 ）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号

2-1-2

事務事業名	二十歳を祝う会開催事業	所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約				
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

〔事業の概要・現状・課題〕

二十歳を迎える町民等を対象とする式典の実施。出席者全員での記念撮影、中学校時代の恩師らを囲んでの交流会を開催している。民法が定める成人年齢が令和4年度から18歳に引き下げられたことを受け、従前20歳に達する年度の1月に実施していた成人式について、対象者や実施時期について検討した結果、民法改正後も20歳に達する年度で式典を開催することとした。
そのため、令和5年1月開催分から名称を「二十歳を祝う会」に変更し、開催している。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

芽室町に愛着を持ってもらえるような企画の実施。
令和3年度から毎年町内3中学校の中学3年生在籍時に5年後の自分へのメッセージを作成して写真を撮影。それを動画編集し、5年後の式典で上映する企画を町内3中学校に提案し、実施している。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	263,006	171,244	236,837	265,000	265,000	265,000
	事業費計	円	263,006	171,244	236,837	265,000	265,000	265,000

事務事業名	地域子ども会育成連絡協議会支援事業	所属 部門	生涯学習課課	社会教育係
町長公約				
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

〔事業の概要・現状・課題〕

事業の概要

- ◎地域子ども会育成連絡協議会への補助金の支出
- ◎地域子ども会育成連絡協議会の事務局業務
 - ・単位子ども会への活動助成金の交付
 - ・わくわく体験塾の開催
 - ・西部十勝子ども会交流会への参加

現状・課題

- ・子ども会加入者数の減少等により、活動を休止する単位会が年々増えてきている。
- ・地域で子どもを育てるという意識・機運が低下している。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

- ・事業への参加者数及び連絡協議会への加入を促すような事業内容の検討。
- ・子ども会加入者数の減少対策として、市街地町内会連合との情報共有を図る。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	412,990	273,675	307,769	370,000	370,000	370,000
	事業費計	円	412,990	273,675	307,769	370,000	370,000	370,000

2024 年度（ 2023 年度実績 ）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号

2-1-2

事務事業名	青少年健全育成協議会支援事業	所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約				
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

〔事業の概要・現状・課題〕

町民集会の開催、PTA連合会との合同研究大会の開催、街頭巡視活動、広報誌の発行、3つの心運動の推奨に係る取組。課題として、会の構成団体の減少などがある。また、他の団体との活動内容の類似するものがある。

「子ども110番の家」の依頼・旗の設置に関わる業務については、2021年度から環境土木課に移管。

なお、毎年、会員にアンケートを実施し、会の活動内容の検証・見直し等を行って。2021年度から、専門委員会の体制を指導育成委員会、健全育成委員会、広報調査委員会の3体制から指導育成・健全育成を合併した新たな健全育成委員会、広報調査委員会の2専門委員会へ見直した。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

2022年度以降の町民集会については、PTA連合会と連携して開催している。

また、2022年度から新たに「SDGsの理念」を推進する取組として、3つの心運動のポスター、標語の募集について「SDGs」の周知に係る内容も含めて募集している。

また、青少協の広報活動について、広報誌や新聞折込により周知していたが、掲載スペースの制限及び新聞購読者の減少などの背景から、ポスティングを活用した全戸配布を実施する。

巡視活動等について、夜間・休日の対応もあることから、無償対応から有償対応への検討を行って。いる。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	348,402	428,056	584,917	585,000	585,000	585,000
	事業費計	円	348,402	428,056	584,917	585,000	585,000	585,000

事務事業名	芽室町PTA連合会活動支援事業	所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約				
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

〔事業の概要・現状・課題〕

PTA連合会への活動費の助成。
会の活動内容は、道内・管内各種研修会への参加、視察研修の実施、研究大会・役員交流会などの開催。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

各単位PTA間の交流・連携促進のために、社会情勢を捉えつつ安全面に配慮した会の運営を支援していく。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	86,166	245,776	369,846	559,000	559,000	559,000
	事業費計	円	86,166	245,776	369,846	559,000	559,000	559,000

事務事業名	社会教育協会連絡協議会活動支援事業	所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約				
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

〔事業の概要・現状・課題〕

単位社会教育協会に対して活動助成金を交付する等の支援を行うほか、連絡協議会の事業として視察研修や地域づくり研修会を開催し、単位社会教育協会同士の交流や情報交換の機会を提供している。

地域での会員戸数の減少や少子高齢化の影響で活動規模の縮小を進めている協会が増えてきており、年間の行事が総会と環境整備のみとなってしまっている協会もあるほか、休会の申し出も増えている。

2023年度から中央西地域社会教育協会と坂の上社会教育協会が、2024年から祥栄社会教育協会が解散(休会)となった。(R6時点で13単位会)

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

連絡協議会の事業として日帰り・一泊二日の視察研修会を交互に隔年で実施されていたが、視察研修会という学習スタイルについて、時代に即しているか疑問であり見直すべきとの意見があり、2022年度から視察研修会は中止とした。

また、今後の社連協の在り方についても、各単位の意見等を聞き取りながら再構築の検討を進める。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	624,537	633,766	537,496	710,000	710,000	710,000
	事業費計	円	624,537	633,766	537,496	710,000	710,000	710,000

事務事業名	文化財保護事業	所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約				
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

〔事業の概要・現状・課題〕

芽室町内の文化財保護及びその活用に向けた方策を審議するため、文化財保護審議会を開催する。
町指定天然記念物である芽室公園のカシワ林の保護を継続して行う。
文化財保護に関する見識を深めることを目的に、審議会の開催に合わせて町内や管内の博物館施設等の視察
を行い、文化財保護に関する意見交換などを行っている。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

町として保護すべきと考える文化財の掘り起こし、候補選定に向けた準備を進めるとともに、郷土資料の展示・保
管施設である芽室町ふるさと歴史館の今後の利活用に関する議論を行い、審議会の活性化を図っていく。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	11,158	94,758	11,158	20,000	20,000	20,000
	事業費計	円	11,158	94,758	11,158	20,000	20,000	20,000

2024 年度（ 2023 年度実績 ）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号

2-2-1

事務事業名	芸術鑑賞会等開催事業	所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約	「一流を見て、聴いて、学ぶ」			
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

〔事業の概要・現状・課題〕

町民に対して、音楽や伝統芸能、演劇などの芸術に触れる機会を提供するため、その分野のプロ(専門家)を招いて文化芸術鑑賞会を開催する。演目の選定にあたっては、2015年度から開始した町民による委員で構成される内容検討会議を2019年度から実行委員会に変更し、幅広い年代の町民から意見を募り、町民ニーズを反映した鑑賞会を実施している。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

- ・2015年度から実施してきた「内容検討会議」を2019年度から「実行委員会」に変更し、委員には費用対効果も視野に芸術鑑賞会の演目選定を促す。
- ・「一流を見て、聴いて、学ぶ」機会を提供するため、2020年度から概ね3年に1度の周期で、町の財政状況も勘案しながら予算を増額し、鑑賞機会の少ない一流の演者の招聘を検討する。
- ・鑑賞会の周知方法やチケット販売方法を検討するなど、入場者増加の工夫も検討する。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	2,910,000	70,000	295,200	720,000	720,000	720,000
	一般財源	円	3,646,238	1,534,164	1,370,638	1,131,000	1,131,000	1,131,000
	事業費計	円	6,556,238	1,604,164	1,665,838	1,851,000	1,851,000	1,851,000

2024 年度（ 2023 年度実績 ）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号

事務事業名	芸術・文化振興支援事業	所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約	『一流を見て、聴いて、学ぶ』更なる推進			
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

〔事業の概要・現状・課題〕

芸術・文化活動の振興を目的とし、小中高生が芸術・文化活動において上位大会等へ出場する機会を得た場合の経済的な負担の軽減を行う。また、芽室町文化協会、文芸誌編集委員会、めむろ子どもと人形劇を楽しむ会への補助を行う。
文化協会の活動については、所属団体・加入会員数の減少及び役員の高齢化や担い手不足という課題がある。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

コロナ禍で停滞しがちであった各芸術・文化団体の活動を支援する。
文化協会の現状課題解決に向け、協会の役割及び中長期的目標について協会と共有する。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	1,644,158	2,622,115	2,765,381	1,618,000	1,618,000	1,618,000
	事業費計	円	1,644,158	2,622,115	2,765,381	1,618,000	1,618,000	1,618,000

事務事業名	文化賞等授賞式開催事業	所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約				
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

〔事業の概要・現状・課題〕

文化活動において、優秀な成績・功績を納めた町内の個人及び団体に対し、年1回3月に授賞式典を開催する。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

受賞候補となる大会等が多様化していることから、必要に応じて表彰基準の見直しについても検討し、授賞者の取りこぼしのないよう対応していく。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	108,273	149,539	303,288	235,000	235,000	235,000
	事業費計	円	108,273	149,539	303,288	235,000	235,000	235,000

事務事業名	郷土芸能メモオロ太鼓保存会活動支援事業	所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約				
簡易シートを 選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

〔事業の概要・現状・課題〕

町の郷土芸能であるメモオロ太鼓を保存・継承するため、開町80周年を機に結成された郷土芸能メモオロ太鼓保存会に対して、継続して支援を行う必要がある。
会員数が減少しており、それに伴い、予算規模・会の活動の縮小化をせざるを得なくなっている。会員（打ち手）の減少や指導者の確保などの課題が継続している。
温水プールの改築と総合体育館一帯の施設再整備のため、2022年3月に活動場所を芽室町勤労青少年ホームから芽室町中央公民館に移した。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

会の運営がスムーズに進むよう、また、会員の確保に向けて支援を行う。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	82,920	0	0	0	0	0
	事業費計	円	82,920	0	0	0	0	0

事務事業名	ふるさと歴史館維持管理事業		所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約					
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない				

〔事業の概要・現状・課題〕

郷土資料の収集・保管・展示を行うとともに、体験学習や歴史館講座等の普及活動をととして、地域の歴史、文化を後世に伝えることを目的に施設維持・管理を行う。開館から20数年が経過し、展示器具や施設設備に経年劣化が見受けられるほか、展示等の表記内容についても見直しが必要な部分も見られることから、中長期的な視点で計画的に更新を図っていく。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

地域の歴史・文化を伝える郷土資料館としての機能を維持するため、修繕対応や展示内容の見直しなどを計画的に実施していく。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	39,292	183,613	1,181,615	257,000	257,000	257,000
	一般財源	円	4,500,788	7,117,643	8,807,657	7,162,000	7,162,000	7,162,000
	事業費計	円	4,540,080	7,301,256	9,989,272	7,419,000	7,419,000	7,419,000

事務事業名	ふるさと歴史館運営事業		所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約					
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない				

〔事業の概要・現状・課題〕

体験型の郷土資料館としての特性を活かし、来館者にもものづくり体験等の場を提供するとともに、郷土の歴史や文化に対する理解を深めることを目的とした講座、展示等の事業を実施する。事業のマンネリ化が課題となっており、ものづくり体験に関しては歴史館らしさを意識したメニュー作りを行うとともに、歴史館講座や特別展示など郷土資料館としての役割である町民に対する普及活動の充実を図っていく必要がある。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

地域の歴史・文化をを後世に継承していくことを目的に、郷土資料の収集保管や展示、調査研究を行い、その成果を町民に還元することを目的とした各種講座や特別展示などを開催するなど事業の充実を図っていく。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	376,718	394,981	412,805	266,000	266,000	266,000
	一般財源	円	2,984,253	3,543,364	3,250,741	3,340,000	3,340,000	3,340,000
	事業費計	円	3,360,971	3,938,345	3,663,546	3,606,000	3,606,000	3,606,000

2024 年度（ 2023 年度実績 ）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号

2-1-2

事務事業名	中学生国際交流事業	所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約				
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

〔事業の概要・現状・課題〕

アメリカ・トレーシー市との交流のため、6月にトレーシー市からの訪問団受入および3月に本町の中学生10人をトレーシー市へ派遣している。
 2019年度から2022年度のトレーシー市への訪問団派遣、および2023年度までのトレーシー訪問団来町については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっていた。
 訪問団の相互派遣が4年間中止となっていたため、事業の継承に不安が残ることから、相互の意思疎通を継続的に実施する必要があると感じる。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

引き続き相互派遣交流の実施のため、トレーシー市姉妹都市協会との連携を図る。
 新型コロナウイルス感染症の影響により中止としていたトレーシー市への訪問団派遣を2024年3月から再開した。トレーシー訪問団受入については、2024年6月に再開予定。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円			1,000,000	1,350,000	1,350,000	1,350,000
	一般財源	円	0	0	6,207,928	5,750,000	5,750,000	5,750,000
	事業費計	円	0	0	7,207,928	7,100,000	7,100,000	7,100,000

事務事業名	公民館運営事業	所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約				
簡易シートを 選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

〔事業の概要・現状・課題〕

各種公民館講座及び指定管理者が行う自主事業の企画・実施にあたり、指導助言を行う。
指定管理者と連絡を密に図り、町民ニーズ等を反映した公民館運営を行う。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

指定管理者の事業提案内容を踏まえ、公民館講座や企画展示、自主事業など各種事業に対する指導助言を行う。社会教育主事を行政と指定管理者、各種団体等との橋渡し役として活用を図る。
令和7年度から、新たな指定管理者に変わる可能性があることも注視しながら進めていく。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	0	0	0
	事業費計	円						

事務事業名	公民館施設維持管理事業	所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約				

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)

住民の様々な生涯学習の活動や発表の場の提供のため、施設の維持管理を行う

2. 対象(何を対象にしているか)

町民

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

町民の生涯学習に対する要望に応えるべく、施設を維持管理する。

4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)

町民が生涯学習に取り組むことにより、心豊かな地域社会が実現し、住みよい地域づくりにつながる

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定

(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 開館日	日
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 町民数	人
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 公民館の利用者数	人
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 生涯学習の機会が充実していると思う町民の割合	%
② 文化活動がしやすいと思う住民の割合	%
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円				41,200,000		
	その他(使用料等)	円	6,121,721	3,636,787	22,135,849	4,282,000	4,282,000	4,282,000
	一般財源	円	49,347,581	44,703,619	62,248,647	44,192,000	44,192,000	44,192,000
	事業費計	円	55,469,302	48,340,406	84,384,496	89,674,000	48,474,000	48,474,000
活動指標	①	日	284	353	353	353	353	353
	②							
	③							
対象指標	①	人	18,117	17,983	17,837	17,837	17,837	17,837
	②							
	③							
成果指標	①	人	48,162	62,434	59,588	59,588	59,588	59,588
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	76.0	81.2	77.3	80.0	80.0	80.0
	②	%	73.0	76.0	70.1	78.0	78.0	78.0
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題

町民の様々な生涯学習の活動や発表の場を提供するため、適切な施設の維持管理を行う。昭和56年の開館から40年以上が経過し、施設自体徐々に経年劣化が進行していることから、指定管理者と密に連絡を図りながら計画的に修繕等を行っていく。

2. 今後の取組（2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法）

・中長期的な視点に立ち、計画的な施設修繕等を行い、施設の適正な管理を行う。
・令和7年度からの次期5年間の指定管理者選定に向け、令和6年度上期のうちに、施設管理に関する仕様書及び指定管理に係る経費を計画的に策定し、遺漏なく管理業務の担い手の選定を行う。
・令和6年度に施工する空調設備工事は施設の利用を継続しながら部分的に工事を進めるため、施設利用者に対する配慮と円滑な工事の進行を両立させるため、施工業者が決定し、工事計画が具体化した段階で施設の利用調整を行う。

事務事業名	文化財保護管理事業	所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約				
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

〔事業の概要・現状・課題〕

町内に所在する周知の埋蔵文化財包蔵地等の状況を適切に把握することで、開発行為等が計画された時点で提出される埋蔵文化財保護のための事前協議に対して適切に対応する。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

町内で行われる開発行為に対し、文化財保護の観点から事前協議等に対する調査・回答は北海道教育委員会発出の「土木工事等に伴う埋蔵文化財保護の流れ」に従って対応する。調査実施にあたっては専門的な見地からの判断が求められることから、学芸員資格(考古学)を有する職員が対応する。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	924,000	1,716,000	868,000	0	0
	事業費計	円	0	924,000	1,716,000	868,000	0	0

事務事業名	学習支援事業	所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約				
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

〔事業の概要・現状・課題〕

知識や経験のある人材を生涯学習推進アドバイザーに委嘱し、社会教育の各分野において直接指導・助言等を行う。
主に、高齢者学級「めむろ柏樹学園」の運営などを担う。
生涯学習推進アドバイザーの採用に当たり、知識や経験のある人材の確保が必要。

芽室町総合情報誌「すまいる」や町の公式SNS等を活用し、町の教育情報を周知し、教育・スポーツ・公民館・図書館に係る情報を発信する。
活字離れが進む一方で、紙媒体を好む世代もいるので、幅広い世代に届ける、時代に即した情報発信を推進する。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

アドバイザーについては、良い人材を集めるための工夫が必要。2024年度から報酬を1級49号俸から73号俸に増額し、雇用の安定化を図っている。

情報発信については、情報収集のアンテナを持ち、適切なタイミングで適切な情報を適切な媒体で発信することを心掛ける。また、広報誌面については、情報は簡潔に目に留まる構成を心掛ける。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円	555,000					
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	1,132,504	604,803	266,762	307,000	307,000	307,000
	一般財源	円	10,972,577	8,054,872	5,282,100	6,120,000	6,120,000	6,120,000
	事業費計	円	12,660,081	8,659,675	5,548,862	6,427,000	6,427,000	6,427,000

事務事業名	コミュニティ・スクール運営事業	所属 部門	生涯学習課	社会教育係
町長公約	コミュニティ・スクールの充実			

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 地域学校協働活動(学校支援ボランティア、地域学校協働活動本部会議)、学校運営協議会へのCSコーディネーターの参加。
2. 対象(何を対象にしているか) 町民
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 保護者や地域住民等が児童生徒や教育活動に積極的に参画してほしい。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 子どもたちの学びや体験が充実するとともに、地域の人と人のつながりも深まり、持続可能な町づくりにもつながる。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① ボランティア実施回数	回
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① ボランティア登録者数	人
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① ボランティア参加人数	人
② 地域学校協働本部会議の開催	回
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 地域学校協働活動に参加した学校数	校
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円		484,000	710,000	1,826,000	1,826,000	1,826,000
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円		647,179	822,766	590,000	590,000	590,000
	一般財源	円	0	7,034,472	6,233,723	6,281,000	6,281,000	6,281,000
	事業費計	円		8,165,651	7,766,489	8,697,000	8,697,000	8,697,000
活動指標	①	回		104	120	120	120	120
	②							
	③							
対象指標	①	人		102	112	120	120	120
	②							
	③							
成果指標	①	人		289	352	350	350	350
	②	回		2	3	3	3	3
	③							
上位成果指標	①	校		6	7	7	7	7
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・学校管理職とボランティア活動の在り方について、PTA活動等とのすみ分けを確認する。 ・学校支援ボランティアによる、地域と学校との関係づくりを推進。 ・細かな配慮が必要な授業(裁縫等)への支援。 ・学校運営協議会を核とした活動に、地域ボランティアの参加促進。	2. 今後の取組 (2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法) ・ボランティア活動一覧を用いて、学校管理職と協議を行い、地学協働に相応しい活動を模索する。 ・CSコーディネーターが担当区の学校運営協議会の委員となり、学校課題の把握、支援に向けボランティアへのスムーズな調整、コーディネーターの活動の周知などを行う。 ・町民、PTA、柏樹学園などへの広報活動とボランティア登録の呼びかけを行い、SNS等を活用して活動の様子を発信していく。 ・外部講師の活用による新たな総合的な学習の展開。 ・給食試食を通じた、学校支援ボランティアと生徒・児童との活発な交流。
---	---